



Copyright © 2019 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. トラブルシューティング

改訂情報

変更年月日	変更内容
-------	------

2019-04-01	初版
------------	----

はじめに

本書の目的

本書ではIM-PDFDesigner for Accel Platform の操作において予期せぬ動作となった際の原因の特定と対応方法を説明します。

対象読者

IM-PDFDesigner for Accel Platform の運用におけるトラブルや技術的問題を解決したい方

トラブルシューティングのステップ

下記の3つのステップで対応します。

- 原因を特定するための情報を収集します。
- 収集した情報をもとに既知の問題が当てはまるかを確認します。
- (既知の問題に当てはまらない場合) intra-martサポートサイトへ問い合わせるための資料を収集します。

トラブルシューティングの読み方

個々のトラブルシューティングにおける記載項目について説明します。

- **現象**
発生する現象の詳細です。
- **解決方法**
対象の現象が原因が「不具合」であり、既に解決済みである場合、問題を解決するために適用すべきパッチまたはアップデートを記述しています。

用語解説

intra-mart Accel Platform	iAP と略します。
IM-PDFDesigner for Accel Platform	IM-PDFDesigner と略します。
iAP ホームディレクトリ	%HOME_PATH% と略します。
Storageのディレクトリ	%PUBLIC_STORAGE_PATH% と略します。
帳票エンジンのディレクトリ	%IODOC% と略します。

トラブルシューティング

java.lang.NoClassDefFoundErrorが発生する

クラスパスの設定が正しくありません。
 セットアップガイドに従ってクラスパスを設定してください。

java.lang.UnsatisfiedLinkErrorが発生する

ネイティブライブラリの呼び出しができていません。
 Windows Server の場合は、環境変数 PATH に IOWebDOC の binフォルダのパスを設定してください。
 Red Hat Enterprise Linux の場合は、環境変数 PATH に \$IODOC/bin を、LD_LIBRARY_PATH に \$IODOC/lib のパスを設定してください。
 また、Red Hat Enterprise Linux にて、resin をサービス起動している場合は、resinの起動スクリプト（サービス）に直接 環境変数を設定してください。

環境変数の設定については、セットアップガイドを参照してください。

RHEL	環境変数を記載する サービス起動用の設定ファイルの場所
6.x	/etc/init.d 配下のresinスクリプト
7.x	/etc/systemd/system/ 配下のresinスクリプト



注意

systemd の Environment / EnvironmentFile では変数の展開できないため、直接 必要なPATHを記載する等ご対応ください。変数を記載しても動作しないため注意してください。



注意

設定後に必ずOSを再起動してください。既に起動しているプロセスについては、設定を反映するためにプロセスの再起動が必要です。

エラーコード -100が返される

連票（IOCela）をLinux上で利用する場合は、帳票レイアウトファイル（def/clf）の改行コードが「CRLF」ではなく「LF」に変換されているかご確認してください。

エラーコード -1012が返される

エラーコード -103が返される (1)

PDF作成ランタイムに実行権限がありません。

IOWebDOC の bin ディレクトリ内のすべてのファイルに Resin を実行できるユーザの実行権限を設定してください。

エラーコード -103が返される (2)

IM-PDFDesigner連携ライブラリとデザインツール (で出力した帳票レイアウトファイルの) のバージョンが合致していない場合に発生します。

『[IM-PDFDesigner リリースノート](#)』のバージョンと連携エンジンの整合性確認表に示すバージョンの組み合わせになっているか確認してください。

また、デザインツールで作成した帳票レイアウトファイルを保存する際に、保存形式を間違わないようにしてください。

エラーコード -104 が返される (コンソールに「Please set up environment variable IODOC.」と表示される)

セットアップが不完全です。

セットアップガイドに従って環境変数を正しく設定してください。

エラーコード -100が返される

ディスクがいっぱいか、ファイルにアクセスできません。

ディスク容量を確認してください。

また、Storage(共有ディスク)の書き込み遅延が発生している場合があるので、Storage の設定を確認してください。

単票ツール (IODoc) にて、[-23]:システムエラー が返り、PDF出力ができない。

帳票エンジン (IOWebDOC) 1.9.3.2 を利用している場合に発生いたします。

本バージョンにて、EOL の扱いが変更されたことが原因にて、帳票エンジン (IOWebDOC) 1.9.3.1 以前、もしくは1.9.4.1 以降へ移行をお願いいたします。

連票ツール (IOCela) にて、[23]:データが不正です。[COLS:数値]と表示されPDF出力ができない。

以下の条件を満たす場合に発生いたします。

- (1) 帳票エンジン (IOWebDOC) 3.x系を利用している。
- (2) 連票ツール (IOCela) を利用している。
- (3) 埋め込み用データのカラム数(CSV/TSVファイル)と、定義データ数が一致していない

埋め込み用データのカラム数(CSV/TSVファイル)と、定義データ数を一致させてください。

帳票エンジン (IOWebDOC) 3.x 系では、1.9系よりもエラーチェックを厳密に行うよう仕様が変更されています。

CSV/TSVファイルの区切り文字が異なっていないか、カラム数が定義と同じであるか、ご確認ください。

「IODoc/IOCela/IOIntegration is undefined」と表示される

インストールに失敗しているか、または試用期限が切れています。

正しくインストールして、ライセンスを登録してください。

PDFIllegalLicenseExceptionがスローされる

試用期限が過ぎています。

ライセンスを登録してください。

Resinの起動直後は正常に帳票が出力されているが、一定時間経過後に帳票が一切出力できなくなる(1)

メモリが枯渇しています。

OS および Resin で利用するメモリの合計が、OS に載せているメモリ内に収まっているか確認してください。

メモリを増設する、またはメモリの割当を変更してください。

通常は、OS のメモリの 50%~60% 程度を Resin に割り当ててください。

Resinの起動直後は正常に帳票が出力されているが、一定時間経過後に帳票が一切出力できなくなる(2)

以下のフォルダに、大量のファイルが削除されずに残っていないかご確認ください。

下記のフォルダに大量のファイルが削除されずに残っていると、OS本体のファイルIOに影響し、PDF出力時にエラーとなる場合がございます。

- ・ OSの環境変数 TMP / TEMP フォルダ
- ・ Resinの一時フォルダ \$RESIN_HOME/tmp 等...
- ・ プログラムで利用する一時フォルダ



コラム

事象が解決しない、または上記以外の事象が発生した場合は、[必要情報](#) を取得しサポート窓口までお問い合わせください。